

物流改革へのチャレンジ！

青森県総合流通プラットフォーム 「A！Premium」流通サービスの取組

令和元年11月11日（月）
青森県知事
三村 申吾

物流改革へのチャレンジ！

【プラットフォーム構築に至る経緯①】

- 青森県には、国内外に誇れる素晴らしい農水産品が多数ある
- しかし、本州最北端に位置するという地理的不利な条件のため、日持ちする産品以外では鮮度を保ったまま、中部以西に届けることが困難



ロジスティクス課題改善により
農林水産品の国内外展開を支援

物流改革へのチャレンジ！

【プラットフォーム構築に至る経緯②】

- ロジスティクス課題の改善のためには、物流会社の協力が不可欠
- そこで、平成26年5月～6月に連携事業者を公募し、ヤマト運輸(株)1社が応募



- 平成26年7月24日、ヤマト運輸(株)とプラットフォーム構築に係る連携協定を締結
- 平成27年4月27日、青森県総合流通プラットフォーム「A! Premium」サービス開始

物流改革へのチャレンジ！

【A！Premiumの特徴】

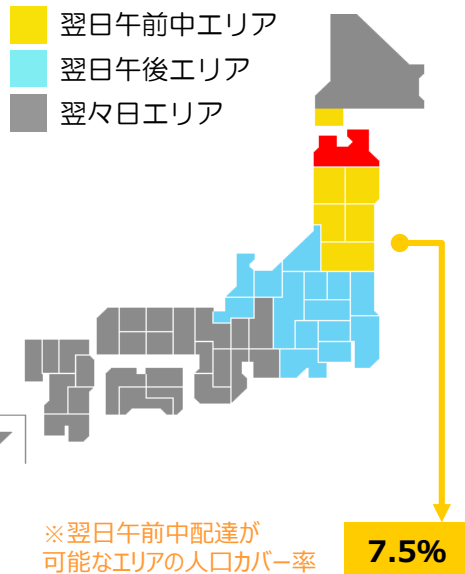
- 航空機を活用したスピード輸送と、保冷一貫輸送(クール)の両立
- 国内サービスはクールのみ、海外サービスは、常温、クール、冷凍の3温度帯
- 出荷者(サプライヤー)は、水産市場、漁協などが中心で、取引先は大半が飲食店
- 出荷される荷物の9割以上が鮮魚や活貝などの生鮮水産品
- 物流部分はヤマト運輸(株)の民間サービス
- 青森県は、荷物を増やすための営業活動や、プラットフォームの改善等に係る検討を担当

物流改革へのチャレンジ！

【A！Premiumのサービス内容】

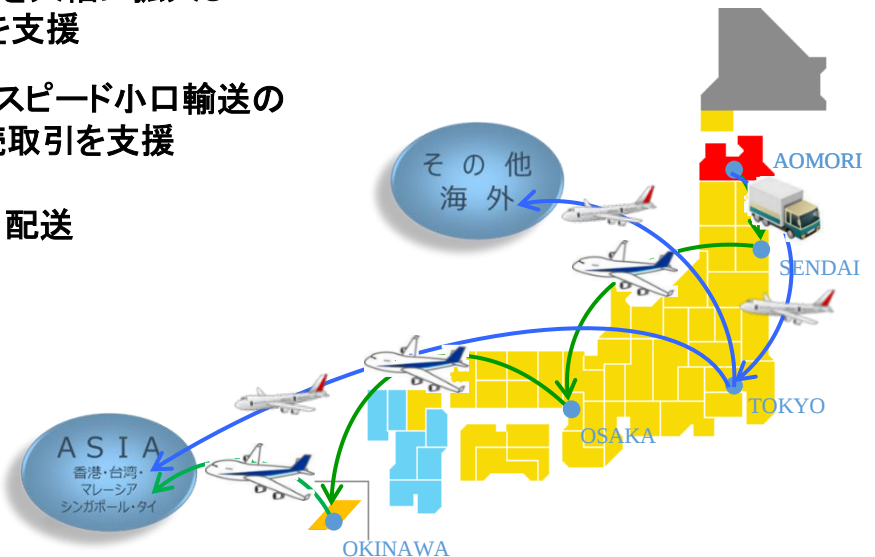
輸送時間の短縮と鮮度・品質を保持した付加価値の高い物流により、農林水産品等の国内外への流通拡大を物流面で支援することを目的とした輸送サービス。

通常の宅急便サービスレベル



プラットフォームのサービス

- POINT!** 翌日午前中配達エリアを大幅に拡大し西日本への販路構築を支援
- POINT!** 鮮度、品質を維持したスピード小口輸送の365日運行により継続取引を支援
- POINT!** アジア圏への最短翌日配送



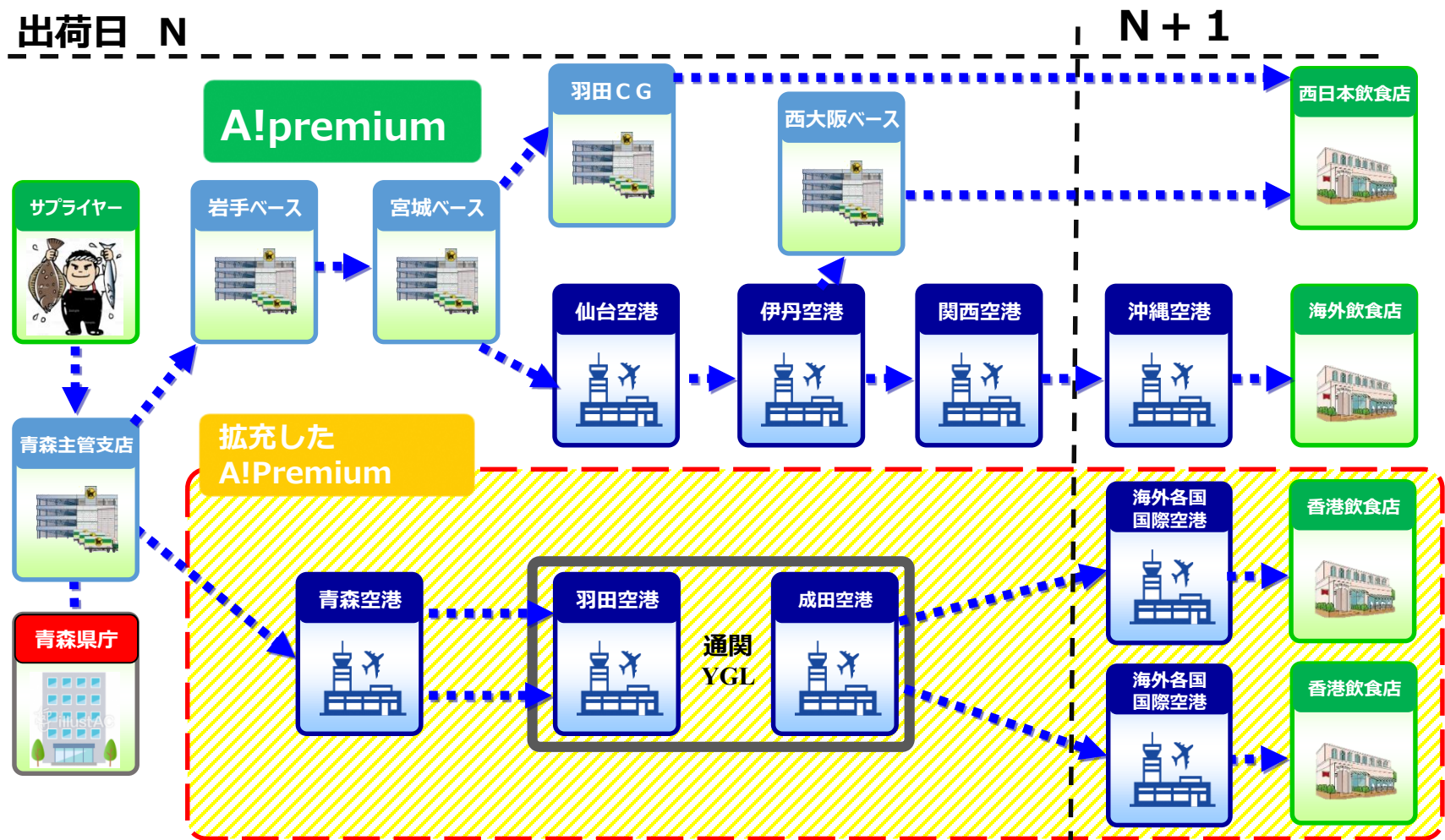
物流改革へのチャレンジ！

【新A！Premium（2019.4月～）】

- 「A！Premium」をきっかけとして、「A！Premium」以外の輸送方法で運ばれる県産食材の取引拡大や、海外への「中ロット」輸送のニーズ等、「A！Premium」開始時には想定していなかった新たな需要が顕在化
- 平成31年3月19日、県とヤマト運輸(株)、ヤマトグローバルロジスティクスジャパン(株)を加えた三者により、「新青森県総合流通プラットフォーム構築に係る連携協定」を締結
- 従来の「A！Premium」をさらに拡充、より多様なニーズに柔軟に対応していく体制を整備

物流改革へのチャレンジ！

【A!Premiumの配送ルート】



物流改革へのチャレンジ！

【主な商材】



【活ホタテ】

魚介類を求めるお客様に対して、真っ先にお勧めするアイテム。
活ホタテを契機として、他の商材にも取引を広げていくパターンが多い

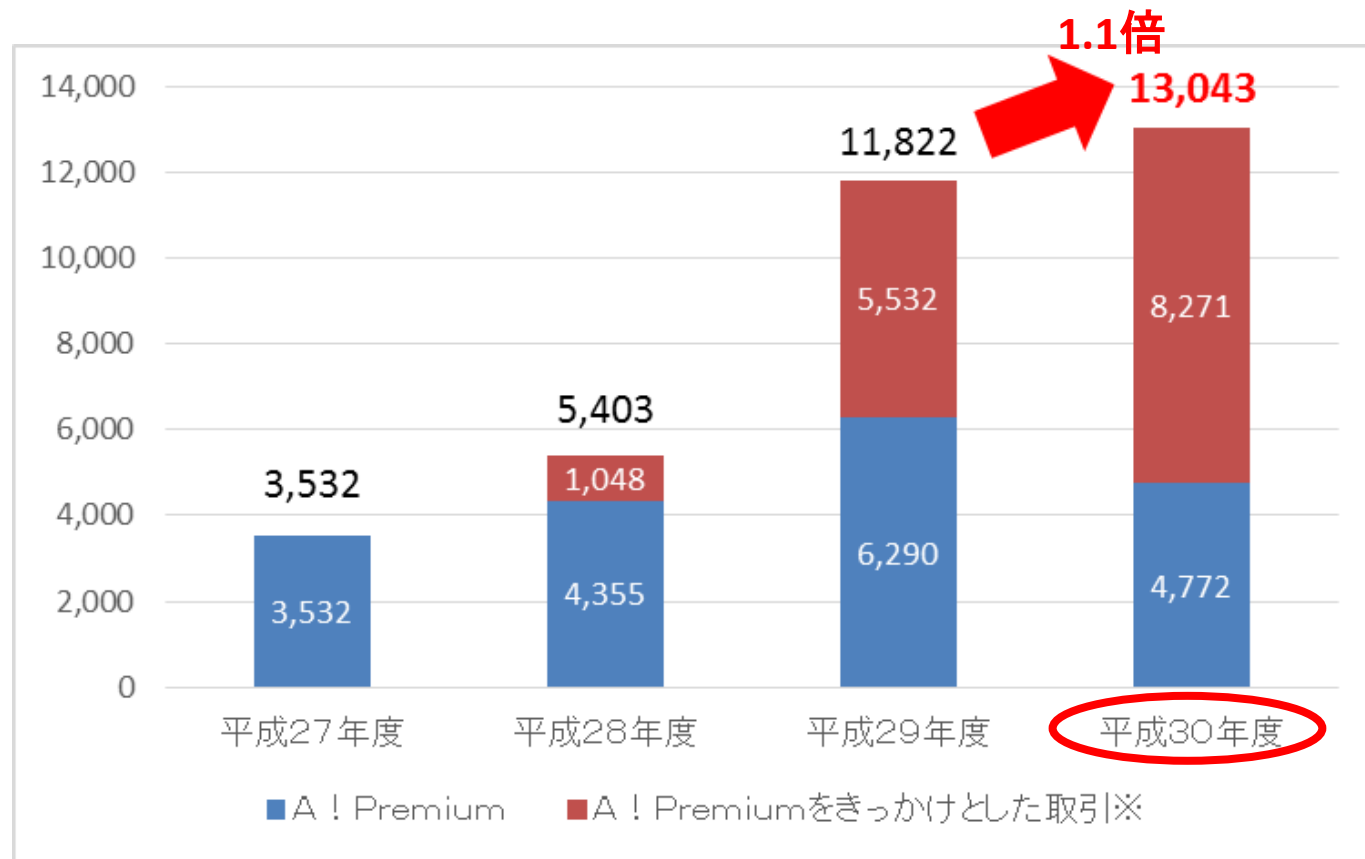


【鮮魚BOX】

居酒屋やレストランなどの小口取引が中心であることから、多品種・少量で旬のものが欲しいという引き合いが多く、鮮魚BOXのリクエストが増えている。

物流改革へのチャレンジ！

【平成30年度の利用実績①】

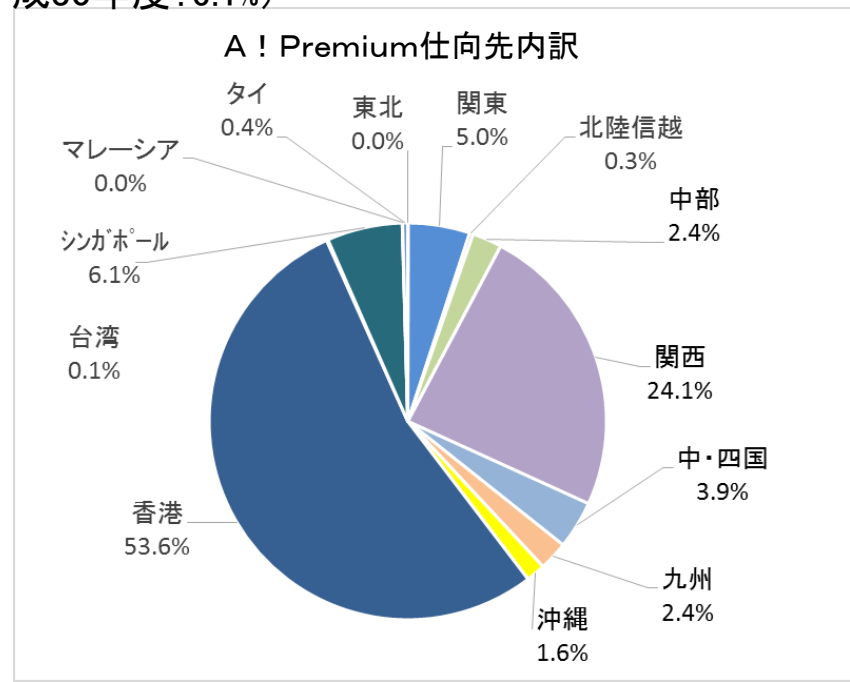


物流改革へのチャレンジ！

【平成30年度の利用実績②】

海外向けの新たな商流の構築

- 「A！Premium」の主な仕向け先は国内は「関西」、海外は「香港」となっている。
- 香港については、これまで香港向け取引の中心だった大手飲食企業との取引が減少する一方、商社等を介した小口の飲食店向け取引が急増している。
- シンガポールについては、商社や現地卸売業者との連携による新たな商流が構築されたことにより、取引が本格化しており、香港、関西に次ぐ第三の取引先になるなど、新たな主力販路に成長した。
(平成29度:0.4%→平成30年度:6.1%)



物流改革へのチャレンジ！

【取組事例と成果（株式会社ワールド・ワン）】

- 平成28年から「A!Premium」の活用により、数多くの県産食材を取扱い。
- 青森県に特化した業態として、平成29年4月に「青森ねぶたワールド」、11月に「青森ねぶた小屋」を神戸市三宮に開店。
- 平成30年12月、東京都新橋に「青森ねぶたワールド」を開店。
- 令和元年5月、神戸市に県産りんごを使用したスイーツ専門店「a la ringo（あら、りんご。）」、8月には東京都秋葉原に「青森ねぶた小屋」を開店。
- 「青森ねぶたワールド」「青森ねぶた小屋」の開店後、関西向け「A!Premium」の取引、「A!Premium」をきっかけとした取引も大幅に拡大。

物流改革へのチャレンジ！

【取組事例と成果（株式会社ワールド・ワン）】



「青森ねぶたワールド」新橋店オープン

産地の取組～ながいも～

旧体系(平成10年頃まで主流)
… プラスチック製コンテナ(20kg/個)の利用



【作業】コンテナにながいもを入れ、
人力で運搬車に積み上げる



【作業】パレットにコンテナを人力で積み
上げ、フォークリフトで冷蔵庫に入庫

新体系(平成30年でJAの8割程度が導入)
… スチール製コンテナ(500kg/個)の利用



【作業】トラクタ等で運搬しながら、
ながいもを入れる



【作業】スチール製コンテナを、冷蔵庫
に直接フォークリフトで積み上げて入庫

大型コンテナの利用で、
大幅な効率化・省力化

産地の取組～りんご～

軽量化に向けてた小型コンテナ導入の検討

りんごを運搬する際に使用する20kg詰の箱に代わり、15kg詰の小型コンテナの導入を検討

写真1：木箱(20kg詰)との比較



写真2：女性による運搬・積載作業



農協や市場は、従来の20kg詰めには対応していないという課題も

小型コンテナは、女性や高齢者でも積み降ろし作業が可能に

	積み降ろし 作業人数	作業箱数	一人当たり 作業箱数
導入前	2人 (男)	20kg × 750箱	375箱/人
導入後	6人 (男・女・高齢者)	15kg × 1,000箱	167箱/人